

## 校長通信⑬

### 職員研修

今年度も学期に1日ずつ研修日を設けさせていただき、その1回目の研修を4月21日(金)に行いました。個別の指導計画の作成を主な研修として実施しました。

はじめに、今年度から☆専門性サポートチームで行動支援を担当する職員が昨年度の実践について発表しました。友達と関わるのが好きで、模倣ができ、慣れていることには自分から取り組めるという長所を持っていましたが、思いを伝えることや見通しの持てない活動は苦手であるというそ



の子の長所や苦手を考慮して、3つの仮説を立てて、自立活動の中で実施してみたところ、友達との関わりが適切なものになったという事例でした。

本校では、「子どもの良さや可能性がめいっぱい伸びる自立活動」という研究テーマを設定して2年目になりますが、まさに子どもの良さや可能性がめいっぱい伸びた事例だったので、ぜひ個別の指導計画を作成する際に、自立活動をどう設定してくかという研修になるので発表してほしいとお願いしたことから今回の発表になりました。先生方も大変熱心に視聴し、個別の指導計画の作成にも役立ったのではないかと思います。研修の後、実際に個別の指導計画を作成しましたが、特別支援学校での経験の浅い職員も多い本校では、作成に悩む職員も多く、午後から設定していた専門性サポートチームの相談には多くの職員が訪れていました。



☆「専門性サポートチーム」(通称:専サポ)・・・特別支援学校の専門性の要となる機関で、主に自立活動についての児童生徒支援や職員の専門性向上のための研修などを行います。ICTの活用推進や行動問題などへの助言なども行っており、支援支援会議等と一緒に参加して子どもたちの支援について担任や保護者の方と一緒に考えることもあります。